



家族に感謝、職場に感謝

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 松本 哲朗 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号丸越ビル6F
幹事 杉本忠夫 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org



インスピレーションになろう

＜2018-19年度R.I.テーマ＞ R.I.会長 パリー・ラシン

第1671回例会

平成30年7月12日(木) 委員長所見

於 名古屋東急ホテル

出席計算数 会員 58名

48名中36出席

出席率 75.00%

前々回出席率 100.00%

例年プログラム

★受入青少年交換学生挨拶(最終)

★神野青少年奉仕副委員長

★受入青少年交換学生帰国送別案内

★宇瀬会場運営委員長

★8月9日例会場「名古屋栄東急REIホテル」駐車場案内

★岩崎会員

★地区補助金について

★クラブ計画書配布について

★委員長所見

ロータリーソング

「それでこそロータリー」

指揮者 鬼頭 茂成

ピアノ伴奏 富板 玲子

ゲスト

国際奉仕委員会ゲスト

R-1第2680地区

川西RC(兵庫区) 米山奨学生

サンダーモーさん

受入青少年交換学生

アリソン・ペイジ

・ ショーンズ

インタビュー

名古屋南RC 桂 洋司さん

ニコボックス

勢関が横綱鶴電に勝ちました。

暑い日が続きます。皆様ご自愛下さい。

委員長所見します。よろしくお願

いします。 春日井和良

来週17日にペイジが帰国します。

鬼頭 茂成

ペイジ、お元気で!!

高木 政義・中原 康雄

大上 晃延・竹林 正人

ペイジさんお元気で。尾上 昇

岡村 隆徳・加藤巴千彦

妻の誕生日です。佐々木 功

結婚記念月・誕生日です。

吉田 憲一

結婚記念月です。

林 順治

直腸カンの手術から5年経ち今日

日赤のCT検査の結果転移なしと

なりました。 吉田 隆彦

会長挨拶

「ふるさと納税1」

松本 哲朗



この制度は2008年に始まり最近ではじめても宣伝をするので

だんだん広

まってきた

したが、まだ

納税者の30

%くらいし

か利用してい

ないようです。

本来は地方の税金で育った地方

出身の方が、都会で生活しながら

税金は自分の故郷にお返しする

といった意味の納税制度なのです。

名古屋で育ち名古屋で生活する

自分には関係がないと思っていた

のですが、少し違つて3年ほ

ど前に気付く、ふるさと納税をや

りました。

納税というよの気に入った地方

自治体への寄付というイメージで

寄付すると返礼品が送られてきて

翌年の市民税がほぼ寄付した分た

けの控除があり、返礼品を貰える

分がうれしいというものです。

色々進化して使いやすくなつて

おります。もともと確定申告が必

要な人は送られてくる領収書を保

管しておいてそのまま確定申告で

提出すればいいのですが、確定申

告の必要がない人のために「ワン

ストップ特例制度」というのもで

きております。5つの自治体まで

はこの制度が利用でき、極めて簡

単です。寄付すると送られてくる

申請書に「ワンストップ特例希望」と

し、マイナンバーのコピーと一

緒に寄付先自治体へ返送すればは控

除の手続きがとてくれれます。



「ふるさとチョイス」とか「ち

ふる」など専門のサイトがあり、

そこを見るときでインターネット

のショッピングモールのように

各自治体がさまざまな返礼品をだ

しておりますので、一度活用して

いただけるようお勧めします。

(次の機会に続く)

委員長所見

クラブ奉仕委員長 春日井和良



今年度、クラブ奉仕委員長を務

めさせて頂きます。春日井です。

よろしく願います。委員会

の構成は副委員長に小澤幸男さん

そして大ベニソンの萩葉賢二さん

吉田隆彦さん、小笠原和俊さん

そして若手の伊藤正明さん、紅一

点、期待の川合美幸さん、そして

入会ほやほや、ホットな横川誠人

さん、以上の8名で進めてまいりま

す。

昨年度の幹事からエスカレータ

でクラブ奉仕委員長をこのこ

とであります。入会10年、よう

やく最近ロータリーが少しずつわ

かつてきたつもり、そして幹事も経験し、クラブ奉仕がロータリーの5大奉仕の一番目、ロータリーの管理運営部門ということとはななく判っておったつもりですが、いざクラブ奉仕委員長になって、はてどうなんだろうかと改めて問い直してみました。

まず、クラブ定款を見てみるとクラブ奉仕は「クラブの機能を充実させるために、クラブ内で会員が取るべき行動に関わるものである」と書かれています。

また、クラブ細則では第九条に各委員会の任務が示されており、それにより「クラブ奉仕委員会は会場監督(S.A.A.)と協議しクラブの効果的運営に関連する活動を実施する」とあります。

「クラブの機能を充実させるための行動」、そして「クラブの効果的な運営」についても非常にわかりやすい表現ですが、やはり意味することは活発なクラブ運営を支える管理部門、企業や言明は総務部門、つまりクラブの運営がスムーズに行へよう裏方的な役割を担うということでしょうか。ですから、会員情報の把握や例会の受付から例会プログラムの管理が主な仕事になるわけです。

実際にその仕事を書き出してみるとこれが結構あるんです。例会前のゲスト・ピクチャー、ニコボッ

クスの受付、そしてそれらの発表ソングリーダー、例会プログラムとして卓話者の手配、そして会員の誕生日敬老のお祝い、在籍25周年会員表彰、みぞか例会のプレゼンTの手配、例会出席の管理等々。多くは事務局が協力してやってくれてはいますが、一応クラブ奉仕の担当としてこれだけあるわけです。それとクラブのホームページでプログラム・卓話の事前告知の入力もあつた。

今年度松本会長からはクラブ奉仕に対して三つの指示を頂いております。ニコボックスの予算目標達成、出席率の向上・キーキャップ100%の達成、そして卓話は健康をテーマにする。このなかでキーキャップ100%つまり修正出席率100%達成はなかなか難しいと感じております。

具体的な活動計画としては、まず例会受付、ゲスト・ピクチャーの迎えですが、受付は極力委員会全員で対応、会員には明るく元気に挨拶掛けでコミュニケーションを積極的にとって気分良く例会に臨んで貰える様雰囲気作りに努めます。ゲスト・ピクチャーは親睦活動、会場運営委員会と連携し、失礼のないよう暖かく迎えします。

次にニコボックスですが今年度も目標を200万円とし、毎回集計金額、累計額をコメント発表後

に発表し目標達成に努めることも、年度最終例会に会長・幹事を除く年間寄付額上位数名を発表表彰し謝意を表します。

例会プログラム、卓話は会長の要望に沿い健康をテーマに外部から、また会員にもお願いし、心身共に健康で充実した人生を送る術など有意義な情報・お話をお願いしております。また、特別月間にも合わせ関連する卓話なども関係委員会と調整し組み入れます。

ソングリーダーについては今年度もオオスシシガーズに一任しております。

以上、まずはロータリー活動の基本である例会が充実した楽しく明るいものになるよう目指します。また、出席して良かったと思つて頂けるよう、S.A.A.、会場運営委員会、親睦活動委員会の皆さんと連携し、会員相互の親睦・連帯感がより高まるような活気あるものになるよう、工夫なり努力してまいります。が、皆さんの協力無くしては計画も絵に書いた餅になりかねません。どうかご支援、ご協力を一年よろしく願います次第です。

委員長所見

職業奉仕委員長 大上 晃延

職業奉仕委員長を仰せつかりました大上晃延です。本年度は浅野



彰副委員長をはじめ、岡部快園さん、木村光徳さん、照井菜さん、中村充さんの総勢の名で運営を行うつもりですので、よろしくお願ひいたします。委員の皆さんは、経験豊富な方々が多くいらっしゃいますので、いろいろな意見やご指導をいただきながら、委員会運営をしていきたいと考えております。

さて、職業奉仕はロータリーの根幹的な目的と言われおります。ロータリーのロータリーたる所以は職業奉仕の実践にあると一言言われており、世のため、人のために奉仕する心をもって、倫理的に職業を営むことが職業奉仕であると言えると思います。この職業倫理を表している言葉が四つのエッセツであり、常にこれに照らして職業奉仕を行う必要があります。

また、例会出席にも意味があります。他のロータリアンの良質な言動に接することで自己改善を重ねて、奉仕の心を醸成し、それを実践するよう自己研鑽することで

が例会であると思ひます。職業奉仕委員として、そういったことを念頭に今年度の事業に取り組みたいと思ひます。

具体的には、10月27日(土)、28日(日)に開催されるWFFワールドフードフェスティバルへの会員全員の積極的な参加を促します。お一人様2枚以上の購入をお願いさせていただきますので、ご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

また、毎年恒例の大須観音生院での節分例会を行います。岡部さん、よろしくお願ひいたします。更に、松本会長の意向により、もう一箇所、職場例会を行いたいと考えております。職業奉仕について、いろいろ見つけ直すことができるとなるとなると、委員の皆さんと検討していきたいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

委員長所見

国際奉仕委員長 渡辺 観永

本年度の副委員長は桑山俊光さん、委員に住田正夫さん、堀江英弥さんのベテランを迎え、委員長は渡辺観永が務めさせていただきます。ロータリーは、国際的平和を希求する組織です。そのために平和を鼓舞し伝道する活動を推進する必要があります。当委員会として

は、その活動の意味と、世界中に同じ目的で活動するロータリーのネットワークがあることを、クラブメンバー並びにロータリーファミリーに伝え、参加していただくことを促す努力をする年度とします。

そして、同時に名古屋大須というすばらしい街とクラブを海外で紹介する機会を作ります。そのため、の機会として、ハンブルク（ドイツ）で開催されるR-I国際大会への参加呼びかけ、名古屋栄・木屋大通公園で開催されるWFF（ワールドフードふれ愛フェスタ）への参加呼びかけをします。

更には、本年度第1回例会松本会長の所見の中でも話題に触れていただきましたとお返しに、地区補助金を活用し、ミャンマー国マンダラー市域の内戦孤児院への設備支援を実施します。これにより、現地の教育識字活動改善、水問題の改善等は、同国の将来的平和維持に役立てることができると国際的活動を行います。



ミャンマー国マンダラー市域の内戦孤児院への設備支援

1. シャン・パラワン族難民孤児院への人間性の回復
2. ミャンマー国に対するロータリーの啓明
3. 将来的な平和活動のための人材の育成
4. 国際理解教室を通じての、参加高校生、交換留学生や米山奨学生有志による日本大須地域の国際化の推進

これらの活動に、公益財団法人PHD協会を協同NGOとして迎え、実施していくこととします。このPHD協会は神戸に拠点を構え、1980年代から岩村昇医師の提唱による活動しています。NGOのテーマは人材育成。物や金の支援は食いつぶしてしまっただけで、荒廃をもたらすとの理念の下、多くの人材を育ててきました。このNGOに大いに協力をしたのが、R-第2580地区のロータリーの皆さん、特にR-理事を務められました今井鎮雄。バスタガバナーです。お三方とも故人となられましたが、現在も活動協力は続き、PHDの研修生は米山奨学生の資格をいただき、物心両面の支援をロータリーからいただいています。また昨年度からは、ロータリーファミリーとしてPHD協会は地区大会での登壇紹介をはじめ

め、RYLAや米山記念奨学委員会での講師など多くの役割をこなっています。

今年12月26日に星城中学校での国際理解教室「ミャンマーの内戦孤児をまもるために」を実施し、ロータリアンの皆様にも、コーディネーターとして参加いただく予定です。次世代の、見えぬ未来をきりひらいていく若者達にお力添えをいただければと思います。また10月以降、お時間を頂戴して詳細をお伝えしていきます。よろしくお願いたします。

国際奉仕委員会からスト援 助 R-第2580地区

川西RC（兵庫県）米山奨学生 サンダーモーさん

PHD協会の研修生として、ミャンマー国マンダラー近郊のお寺が集まるタルコ山にあるシユエグ二孤児院から来日されました。



サンダーモーさんからミャンマーの紅茶をお土産としていただきました。

シユエグ二孤児院は、お寺の住職が国境付近の内戦孤児院や被害者を受け入れ約5年。今では100名前後の孤児が集う孤児院となりました。サンダーモーさんはこの孤児院で24時間体制で働いています。朝は4時に起き、年長の尼僧と100名分の食事を作り、昼は孤児に勉強を教え、夜は幼い女の子と小さなスペースで寝るという生活をずっと続けています。日本では孤児院で役立つ教育や保健衛生を学びたいそうです。

受入青少年交換学生援 助 アリソン・ペイシ・ジョーンズ



こんにちは。最後のスピーチとなりました。昨日はフェアウェルパーティをありがとうございました。この一年はあっという間でした。まあ楽しいことが多かったです。学校の友達や留学生の友達とよく遊びました。でもみんな帰ってしまっ、私ももうひとりだけになりました。寂しいです。みなさんのおかげでいい留学だ

とおもっています。ありがとうございました。またあいまじょう。

米山奨学生援 助 7月5日例会

米山奨学生 谷 金橋

今日は6月17日に参加した青少年・学友交流フェスタについて報告したいと思います。

この青少年・学友交流フェスタはロータリーファミリー同士の交流の場として日本で今年初めて開催されたと聞きました。室外の運動場で行う運動会だと思いましたが、体育館で開催する交流会です。参加したメンバーは中学生、高校生、大学生、社会人であり、人数は200人以上です。8つのチームに分けられて、チームごとに「勝つ」という明確な目標に向かって、チームメンバー全員が積極的に取り組んで頑張っていました。

昼ご飯と休憩を境にして、前半と後半に分けられました。多くの種目に参加しましたが、一番印象深いのは「人を探す」という種目です。この種目には、参加者はテーブルの上に置いてくるくじを選んで、すべての参加者の中から、くじに書いている内容と合う人を探し出す、ということでした。くじの内容がいろいろあり、例えば「誕生日が6月の人」「シムに通っている人」「結婚したばかりの人」「帰

「国子女」「ピアノが弾かれる人」など。運が良ければすぐ探せば見つかるが、運が悪ければ1週間かかります。

最後に、私が属する水色チームは第四位で、残念ながらも残念ながらです。午後の3時くらいまで交流フェスタが終わりました。

しばらく運動していなかったのでも、次の一週間は筋肉痛が続いていました。でも、本当に楽しかったです。この交流フェスタを通して、チームワークの大切さを実感しました。これからも、このような活動があれば、また参加したいと思えます。

■ 受入青少年交換学生 帰国
 青少年奉仕委員長 宇野 史人
 幹事 柴崎 正将



写真：中部国際空港セントレアにて

受入青少年交換学生のページ (Allison Paige Jones) が、7月17日(火)、1年の留学を終え、多くの思い出とともにアメリカへ帰国しました。滞在中にはホストファミリーをはじめ、多くの会員の皆様にご支援を頂きまして、青少年奉仕委員会より改めてお礼申し上げます。ご協力ありがとうございました。



その他・お知らせ

国際ロータリー・ニュース

2018年5月24日

ロータリー会員による「驚くべきグローバルネットワーク」を称賛

トロント国際大会で講演したイギリスのアン王女殿下は、ポリオ撲滅活動におけるロータリアンの尽力に感謝の意を述べました。

6月24日、トロント(カナダ)のエア・カナダ・センターで行われた2018年ロータリー国際大会に出席したアン王女殿下は1970年以来子どもへの保健、教育、保護、災害救済の分野で活動する国際的な非政府組織「セーブ・ザ・チルドレン英国」の会長を務めています。

セーブ・ザ・チルドレンは、1980年代初めにアフリカでポリオ撲滅を目指した試験的プログラ



ムを開始したものの、一番必要とされる場所にワクチンを届けることの困難さを知ったと、アン王女は述べました。

ロータリーは、その「驚くべきグローバルなネットワーク」、文化や言語に対する深い理解、「無視無欲の会員」を有し、ほかの組織が克服できなかった困難を独創的に乗り越えてきたとアン王女は続けました。このようにしてロータリーはパートナー組織とともに、世界からポリオをほぼすべて撲滅するにいたったとし、その活動に感謝の意を表しました。

さらにアン王女は、120万人のロータリアンを一堂に集めることは困難なので、国際大会という場でロータリアンへのお礼を述べることが最善だそうと述べ、会場を沸かせました。

エリザベス・ダウズウェル・オントリオ州副総監ならびに同州に

おける英国女王代理は、アン王女を「ロータリアンの理想である超私の奉仕を体現する人」であると紹介し、「彼女はその人生を、卓越した活動をしてきた人や組織に光を当てることに捧げてきた」と述べました。

ダウズウェル副総監はまた、セーブ・ザ・チルドレンでの活動に加え300以上のボランティア、非営利組織、軍関係組織の会長またはパトロン、および複数の大学の総長としてのアン王女の功績を紹介。さらに、ガーター勳章ならびにスコットランドでの慈善活動が称えられて、シッスル勳章を授与されていると述べました。

エリザベス2世とエジンバラ公フィリップ殿下の第2子で一人娘であるアン王女には子どもと孫がいます。



スピーチの中でアン王女は、ポリオ撲滅後に取り組みほかの世界の課題についてロータリーはすでに考えているかもしれないが、まだ考えている心

配する必要はない」と述べました。これまでロータリーが達成してきたことや、世界中の政府から最高レベルの尊敬を得ていることを考えれば、「次に取り組み課題の提案が次々と寄せられるに違いない」とアン王女は結びました。

記事：Geoff Johnson
 写真：Alyce Hanson
 (国際ロータリーHPS)

7月26日(木) 例会の案内

外部早話
 「自然と共に生きる」
 ～色を意識する生活～

(株)HRC代表取締役

高木 君彦さん

8月2日(木) 例会の案内

SPEAK OUT DAY

・派遣青少年交換学生壮行会

中野 愛さん

8月9日(木) 例会の案内

例会変更 同日

納涼夜間例会

於「丸ビル」

BIERHAUS Pilsen
 受付18時30分 例会19時30分

公共イメージ向上委員会

前田 隆久・杉浦 令淑
 川畑 博敬・竹林 正人

*本文は、原則、頂いた
 原稿を転載しています。